

新興国レポート

インドが4会合連続利下げ

政策金利を0.35%引き下げると共に「緩和的な」政策姿勢を維持

- ▶ インド準備銀行（RBI）は政策金利を通常の0.25%幅と異なる0.35%引き下げ、年5.40%とした。4会合連続の利下げで、政策金利は約9年ぶりの低水準となった。
- ▶ 米中貿易摩擦の再燃で世界経済の先行き不透明感が強まりつつある。インド経済の回復が遅れる等の見方で追加利下げ期待が高まれば、金利低下が進み、株価を下支えする可能性も。

(1) 4会合連続利下げ

- RBIは8月7日の政策決定会合で、政策金利を通常の0.25%幅を上回る0.35%引き下げ、2010年7月以来の低水準となる年5.40%としました。利下げは4会合（2月、4月、6月、今回8月）連続で、利下げ幅は合計で1.10%となりました（図表1）。RBIは同時に「緩和的な」政策姿勢を維持しました。インド経済は、2019年1～3月期の実質GDP（国内総生産）成長率（前年同期比）が5年ぶりの低さとなり、また新車（乗用車）販売台数が6月まで8カ月連続で前年割れとなる（図表2）等、停滞色を強めつつあります。RBIは連続利下げにより個人消費の喚起等を図ろうとしているようです。
- RBIは声明で、2020年3月までの1年間の経済成長率見通しを前回（2019年6月）の前年比7.0%から同6.9%に引き下げました。また、2019年7～9月期の消費者物価上昇率を前年同期比3.1%に据え置く一方、年度後半（2019年10月～20年3月）は同3.5～3.7%へ前回の同3.4～3.7%からやや上方修正しました。RBIは、物価は緩やかに上昇するものの、前回同様に中期目標とする「4%前度」には届かないと見ています。
- 政策金利の変更は通常は0.25%の倍数で行われます。今回の利下げ幅が0.35%となったことについてRBIのダス総裁は会見で、現状の経済状態等に照らして0.25%では不十分である一方、今年に入り合計0.75%の利下げを実施しており、0.50%では大きすぎると判断したといった趣旨の発言を行っています。

(2) 会合当日（8月7日）の市場の反応

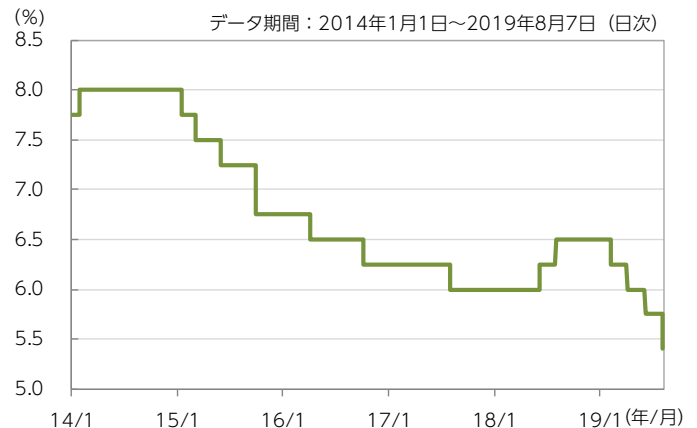
- 会合当日のインド株式（SENSEX指数）は米中貿易摩擦の再燃等が重荷となり、前日比下落しました。約2年半ぶりの水準に低下していた10年国債金利は当面の材料出尽くし感から小幅に上昇しました（図表3）。

(3) 米中貿易摩擦の再燃で追加利下げ期待も

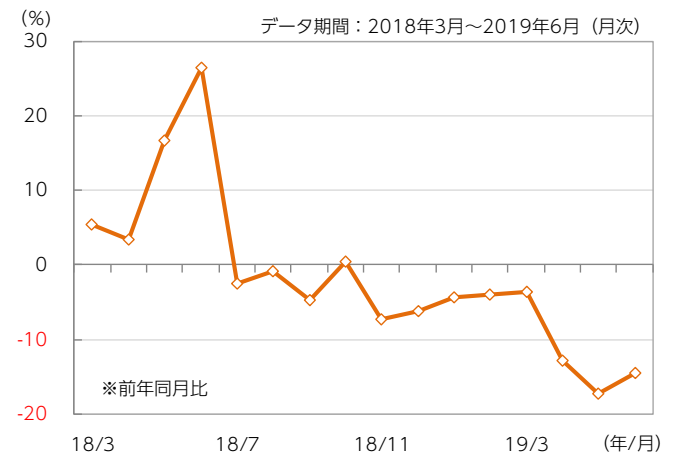
- 米中貿易摩擦の再燃等を背景に世界経済の先行き不透明感が強まりつつあるようです。その影響等によりインド経済の回復の遅れが意識されるようになれば、追加利下げ期待の高まりで金利が低下し、株価を下支えすることも考えられます。

出所) 図表1～3はブルームバーグやCEICのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

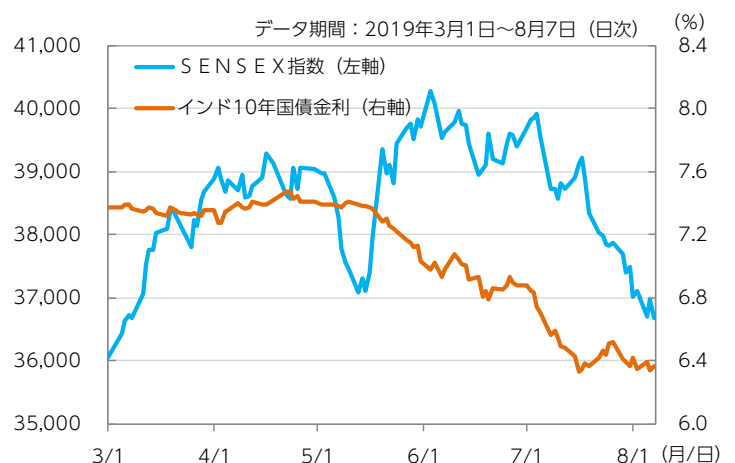
図表1：インド政策金利



図表2：インド新車（乗用車）販売台数



図表3：SENSEX指数とインド10年国債金利



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>